

平戸市 議会だより

CONTENTS

vol.77

令和4年(2022年)
11月1日発行



- 2 … 9月定例会 ここに注目!
- 4 … 常任委員会レポート
- 6 … 9月定例会で審議された案件と審議結果
- 7 … 要望書提出
- 8 … 一般質問
- 14 … 平戸のチカラ



館浦須古踊り出演者のみなさん

平戸市指定無形民俗文化財 館浦須古踊り

とかいせん

No.77 2022.11.1 平戸市議会だより

編集・発行: 平戸市議会広報特別委員会 平戸市岩の上町1508-3

TEL22-9170 FAX22-3427 E-mail: gikai@city.hirado.lg.jp



このコーナーでは、平戸市の宝をご紹介します。

館浦須古踊り (平戸市指定無形民俗文化財) どんな行事?

生月町館浦で8月中旬に行われる伝統行事です。現在、毎年8月18日に行われており、当日は朝から大名行列を模した華やかな行列が、集落の中を練り歩きます。

途中、比売神社や法善寺などで、花杖や毛槍などの演技と中踊を奉納するほか、一般の家でも「ブサタバライ」という演技・踊りを行います。

須古踊りは、佐賀県の須古地区(杵島郡白石町)で行われていた芸能が、1574年の須古城落城で落ち延びた領民によって各地に伝わったとされています。平戸市内では館浦のほか、大島や度島、獅子地区などでも踊られていますが、踊りの形態や目的は地区によって異なります。

館浦須古踊りの特徴として、中踊の中に「アビャゴ」という笹竹を持った異装の少年(写真上)や、行列に傘鉾が加わることが挙げられます。

伝統芸能を後世に継承していくために

館浦須古踊りには、総勢何名ほどが参加されているのですか。

戸田会長 当日は指導者も含めて、70名程度が参加しています。毎年7月下旬からお盆前までの期間中は、ほぼ毎日、指導者の指導の下で練習を行っています。

この行事を続けていく上で、課題があれば教えてください。

戸田会長 やはり少子高齢化が進んでいることによる人手不足が一番の課題です。近年では新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和2年度の踊りは中止という苦渋の決断をしましたが、1年空いただけで技術やノウハウの継承が難しくなるという課題にも直面しました。

今後の展望をお聞かせください。

戸田会長 必要な用具類の整備や保守も含め、この行事を途切れさせることなく次世代に継承していくことは、当然ながら大切だと思いますが、平成30年度からは、伝統的に男性が務めていた須古踊り(中踊 ※写真左下)に女子中学生を加えるなど、行事の在り方にも変化が出てきています。このように、時代に即した形で館浦須古踊りを発展させていくことも重要だと思います。また、須古踊りが縁で、踊りの起源である佐賀県白石町とも交流を予定しており、交流人口の増加にもつながっていきたいと考えています。



広報特別委員会

委員長	松口	茂生
副委員長	神田	全記
委員	井元	宏三
委員	針尾	直美
委員	吉住	龍三

例年のことながら、9月議会は台風の季節と重なる。今年の9月議会の開催期間中も台風11号と台風14号という2つの大きな台風が平戸市を襲った。特に台風14号は九州本土への上陸前から「これまでに例を見ない」といった形容詞がついて、新聞やニュースなどで報道されたように、市内でも農作物などに大きな被害をもたらした。そして、今回の2つの台風では、「停電」というこれまでになかった課題も浮き彫りになった。

台風の痕跡のような落ち葉が、市内の道路のあちこちにまだ残っていた10月の初旬。ソーデウォークを前に、平戸大橋から大手の坂へと続く国道の舗道の雑草がキレイに刈り取られていた。後で地域の皆さんの清掃活動と市役所職員のボランティア(道路アダプト)の成果だと聞いた。

平戸市が「生涯学習都市宣言」を行ってもつづぐ15年を迎える。今回のようなまちづくりの輪が市内に広がって行くことを心から願っている。

(吉住 龍三)

編集後記

平戸市議会 検索 市議会の詳しい情報は、平戸市議会のホームページをご覧ください。

